

透明スベリ止めテープ 施工について

●施工手順

※施工の際、以下の注意点をふまえて貼り付けをおこなってください。剥がれの原因となるメクレを極力発生させないよう施工します。

①下地処理

貼る面のほこり、油分、水分などをよく拭き取ってください。

特に油が付着している場合、剥がれやすくなりますので、あらかじめ脱脂処理を推奨いたします。

②位置決め

貼りつける場所を確認します。また、必要な寸法を確認します。

③テープの切断

テープは手で切れないので、カッターやハサミなどを用いて切断します。

角を丸く切り取って使用すると剥がれづらくなります。

剥離紙側から切断すると刃が摩耗しづらいです。

枝切り鋏を使用すると刃が摩耗しづらいです。

④貼りつけ

巻き癖があるので、貼る前に逆巻にし、平面にしてから貼り付けてください。

貼り付ける相手に対し、しっかりと圧着してください。

屋外や水がかかる場所、階段のステップなど凹凸のある面に対してはプライマーを使用してください。

また、隙間がある場合、コーキング剤などで埋めてください。

角度がある場所に貼り付ける場合、該当箇所に切り込み線を入れると剥がれづらくなります。

⑤その他

汚れてきたら、ブラシ等で水洗いすることができます。

汚れの軽減、滑り止め性能が回復します。

●推奨環境：

- ①平滑面
- ②気温 10℃以上の環境
- ③晴天時
- ④コンクリート、タイル、金属塗装面、樹脂床など

●推奨できない貼り付け場所：

- ①凹凸面（しっかり密着できずはがれやすくなります）
- ②フォークリフト等の車両が通る場所（タイヤの切り返しなどで剥がれる恐れがあります）
- ③大理石、御影石などの石材（万一はがした場合に、糊残りする場合があります、また、変色する場合があります）
- ④素足など直接皮膚で触れる場所（けがをする場合があります）

※強粘着タイプの設計のため、再剥離を想定しておりません。万一剥がす際は糊残りが発生する場合があります。